

国道46号「盛岡西バイパス」延伸開通による整備効果

平成22年12月21日に延伸開通した「盛岡西バイパス」（整備区間延長1.0km）の整備効果についてお知らせします。

◆概要

国土交通省岩手河川国道事務所では、盛岡市内の交通の円滑化と交通安全の確保、沿道環境の改善を目的とし、一般国道46号「盛岡西バイパス」延長7.8kmの整備事業を行っております。

昭和59年度に事業着手し、平成21年3月までに起点側（盛岡市前湯）より延長5.6kmが2車線（一部4車線）整備済みで、平成22年12月に延長1.0km区間が4車線延伸開通し、延長計6.6kmが供用となりました。

今回の整備効果は、平成22年12月開通してから1年後の交通状況調査及びヒアリング調査の結果を取りまとめたものです。

◆主な整備効果

○生活交通の利便性が向上しています。

時間短縮による通勤等の利便性が向上



○沿線地域の開発・利用が進んでいます。

開発地区人口・分譲進捗率が増加



※ 上記内容については、岩手河川国道事務所HPでもご覧いただけます。

〈岩手県政記者クラブ〉

〈問い合わせ先〉

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

〒020-0066 盛岡市上田4丁目2-2

調査第二課長 角舘 清典（内線451）

019-624-3196〔調査第二課直通〕

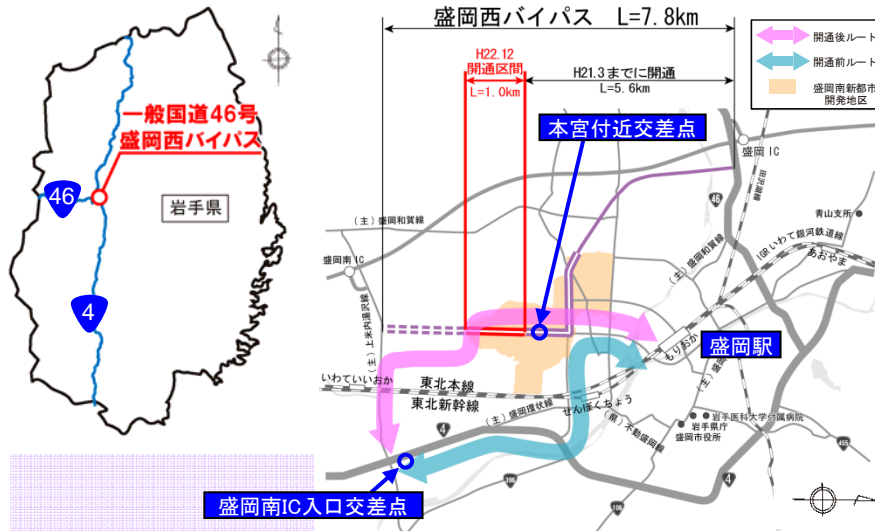
HPアドレス（<http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/>）

【開通1年後】 一般国道46号

盛岡西バイパスの延伸開通

(平成22年12月21日開通)

- ・生活交通の利便性向上
- ・沿線開発・施設利用の促進

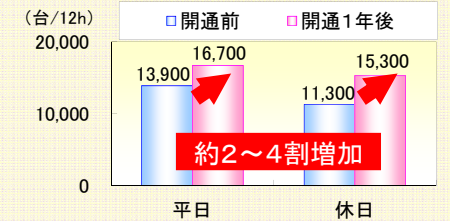


【交通量の変化】

◆利用交通量の増加

バイパスを利用する交通量は、平日・休日ともに増加しています。

【交通量(交通量調査)について】 本宮交差点付近
 開通前: H22.10.5(木)、H22.11.11(木)、H22.12.19.(日)の平均値
 開通1年後: H23.12.1(木)、H23.12.4(日)、H23.12.6(火)、H23.12.7(水)の平均値

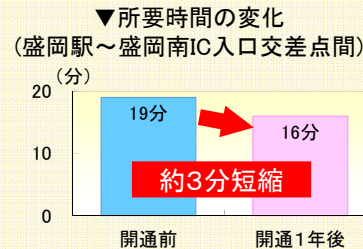


【地域への効果】

◆沿線通勤者から

通勤時に時間短縮が図られ、走りやすく便利になっています。

※沿線学校ヒアリング調査より(H23年12月実施)

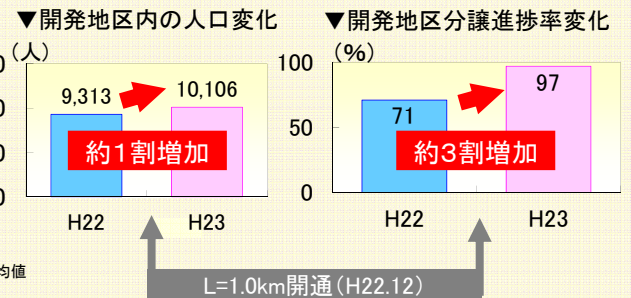


【所要時間(旅行速度調査)について】
 開通前: H22.10.5(木)、H22.11.11(木)、H22.12.19.(日)の平均値
 開通1年後: H23.12.1(木)、H23.12.4(日)、H23.12.6(火)、H23.12.7(水)の平均値

◆新都市開発の現場から

新都市地区の人口が約1割増加、分譲進捗率が約3割増加するなど、新都市開発が着実に進んでいます。

※都市再生機構ヒアリング調査より(H23年12月実施)



◆沿線大規模小売店から

開通後に顧客登録数が増加するなど、顧客拡大に繋がっているのではないかと考えています。

※沿線商業施設ヒアリング調査より (H23年12月実施)

・工事期間: 昭和62年度～ (事業中)

・延長: 7.8km

・幅員: 25.0m (一部 50.0m)

【開通1年後の盛岡西バイパス】

